



令和8年7月21日
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

令和7年度 優良工事等の事務所長表彰について

関東地方整備局鹿島港湾・空港整備事務所では、令和7年度に完成した工事及び業務の中で「特に優れた成績を収めた工事、業務及び技術者」について、「令和7年度優良工事等表彰式」を下記のとおり、執り行いますのでお知らせいたします。

また、より一層、建設業界の魅力を発信するとともに、将来の担い手育成と若手・女性の入職促進に資することを目的として、建設工事で活躍している若手・女性技術者奨励賞の表彰を行い、加えて建設業界全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を行った工事について、関東インフラDX大賞の表彰を行います。

1. 日 時：令和8年7月23日（木）13時30分から
2. 場 所：関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所 会議室
3. 表彰件数等：優良下請け企業及び優秀下請技術者 1件及び1名
優良業務及び優秀技術者 1件及び1名
若手・女性技術者奨励賞 2名
関東インフラDX大賞 1件
4. 当日の取材：取材希望の方は、当日会場にて受付をお願いいたします。
また、写真撮影等は式の進行の妨げにならないよう、お願いいたします。
(駐車場あり)

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所

電 話：0299-84-7711 メールアドレス：info-k83ab@mlit.go.jp

副所長 一場（いちば）

令和7年度 優良工事等の事務所長表彰について

1. 目 的

- 優良下請企業及び優秀下請技術者表彰、優良業務及び優秀技術者表彰は、令和7年度に当事務所で完成した工事及び業務の中から、その施工及び業務への取組みが優秀で他の模範となる工事及び業務を選定し、当該工事等の受注者及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。
- 若手・女性技術者奨励賞は、上記の優良工事等表彰を受賞するもの以外の中から、令和7年度に当事務所で完成した工事の中から優秀な成績を収めた若手・女性の技術者を表彰し、より一層、建設業界の魅力を発信するとともに、将来の担い手育成と若手・女性の入職促進に資することを目的とします。
- 関東インフラDX大賞は、令和7年度に当事務所で完成した工事の中からインフラ分野のDXに係る優れた取組を選定し、これを表彰することにより建設業界のインフラDX推進に資することを目的とします。

2. 令和7年度優良工事等〔事務所長表彰〕

(1) 優良下請企業及び優秀下請技術者

工 事 名	優秀下請技術者名	企 業 名 代表者名 住 所
令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事	(やまなか りょうへい) 山中 遼平 主任技術者	大新土木株式会社 代表取締役社長 新田 奈緒美 東京都中央区日本橋人形町三丁目3番13号

(2) 優良業務及び優秀技術者

業 務 名	優秀技術者名	企 業 名 代表者名 住 所
令和7年度 鹿島港外港地区事業効果検討業務	(はない けんた) 花井 健太 管理技術者	株式会社エコー 代表取締役社長 田中 聡 東京都台東区北上野二丁目6番4号

(3) 若手・女性技術者奨励賞

工 事 名	工事技術者名	企 業 名 代表者名 住 所
令和7年度 鹿島港外港地区南防波堤他本体工事	(たかはし ひろむ) 高橋 啓 監理技術者	あおみ建設株式会社 東京支店 支店長 佃 陸郎 東京都港区新橋六丁目9番4号

工 事 名	工事技術者名	企 業 名 代表者名 住 所
令和7年度 鹿島港外港地区南防波堤被覆工事	(たかやす ゆか) 高安 有加 現場代理人	三光建設株式会社 代表取締役 阪口 樹利 茨城県鹿嶋市平井1350番地278

(4) 関東インフラDX大賞

工 事 名	企 業 名 代表者名 住 所
令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事	五洋建設株式会社 東京土木支店 支店長 近藤 敬士 東京都文京区後楽二丁目6番1号

3. 優良工事等の概要及び表彰理由〔事務所長表彰〕（添付の「資料」参照）

4. 表彰式〔事務所長表彰〕

表彰式は、優良工事等の表彰受賞の者が出席し、事務所長から表彰状が授与されます。

令和 7 年度

優良工事等の事務所長表彰の概要及び表彰理由

令和 8 年 7 月 2 3 日
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

優良下請企業及び優秀下請技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 元請業者名	ごようけんせつかぶしきかいしゃ 五洋建設株式会社
ふりがな 下請業者名	だいしんどぼくかぶしきかいしゃ 大新土木株式会社
下請工事種別	港湾土木
下請代表者名	代表取締役社長 新田奈緒美
ふりがな 下請技術者名	やまなか りょうへい 山中 遼平
職名	主任技術者
ふりがな 工事名	れいわ5ねんど かしまこうがいこうちくみなみぼうはていちくぞうこうじ 令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所
工事概要	本工事は、鹿島港外港地区南防波堤の本体工、被覆・根固工及び上部工を施工する工事である。
下請工事概要	本体工(ケーソン式)において、ケーソン据付、中詰材投入・均し、蓋ブロック運搬据付、間詰コンクリート打設を行う。
優良下請表彰理由【工事】	本工事の主要工種である、ケーソン据付において、元請の技術者とともに、全体の安全管理を司り、厳しい気象・海象条件の中、無事故・無災害で作業を完了させることができた。 よって、その功績を称え、表彰するものである。
特筆すべき事項	適切な工程管理と安全対策に努め、無事故で4週9休を達成した。

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃエコー 株式会社エコー		
ふりがな 技術者名	はない けんた 花井 健太	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	れいわ7ねんど かしまこうがいこうちくじぎょうこうかけんとうぎょうむ 令和7年度 鹿島港外港地区事業効果検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月22日 (至) 令和7年12月23日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
業務概要	本業務は、鹿島港の外港地区における国際物流ターミナル整備事業の再評価にあたり、社会経済情勢の変化等を考慮した整備効果について検討を行うものである。		
表彰理由	本業務は、事業評価監視委員に向けた基礎資料の作成を行うものであるが、本業務の実施にあたり、 ・ 管理技術者の指導の下、各担当技術者の役割が明確であり、滞りなく調整や対応ができた。特に、Web会議を活用し、中間報告以外にも適宜打合せを行い、受注発注者間での綿密な意思疎通を図るとともに、資料の修正指示や疑問点等に対するレスポンスが早く、限られた時間の中で、円滑に業務を進めることができた。 ・ 過去の事業評価との概要比較表を作成し、今回の事業再評価を進める中で円滑に比較検討を進めることができた。 ・ また、事業評価監視委員会直前において、便益として計上している洋上風力発電事業の撤退が公表されたが、国としての方針を鑑み、説明資料の修正や想定問答の更新など、迅速に完了させるなど、業務の意図を十分に理解していることがうかがえた。 上記の工夫などにより、業務完了を履行期限より約2週間早めるなど、迅速かつ的確な対応がみられた。よってその功績を称え、表彰するものである。		

若手・女性技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	あおみけんせつかぶしきかいしゃ とうきょうしてん あおみ建設株式会社 東京支店		
ふりがな 下請技術者名	たかはし ひろむ 高橋 啓	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	れいわ7ねんど かしまこうがいこうちくみなみぼうはていほかほんたいこうじ 令和7年度 鹿島港外港地区南防波堤他本体工事		
履行期限	(自) 令和7年6月4日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
工事概要	本工事は、鹿島港外港地区南防波堤及び中央防波堤のケーソンを、ドック及び海上打継場で製作・打継を行う工事である。		
表彰理由	本工事は、鹿島港外港地区南防波堤及び中央防波堤のケーソンを、ドック及び海上打継場で製作・打継を行う工事である。そのため、場所を移動して打継を繰り返すため、移動に伴い、ケーソンの動揺により既設構造物への損傷が懸念されるとともに、クレーン作業での飛来落下防止や高所作業時での墜落・転落防止等の安全管理が重要となった。 工事の実施にあたり、発注者と綿密な協議を行い、迅速な認の共有ができたことにより、発注者としても滞りなく判断が行えた。これは、工事の内容及び課題・工程等を的確に理解し、早期に対応を図ろうとした結果に他ならない。 また、主体的に、施工監督・安全管理等に努め、適宜必要な対策・調整・管理を行い、同一ケーソンドック(ヤード)内でのケーソン2函同時製作という輻輳した作業内容にも関わらず、工程が遅れることなく、かつ無事故で施工を完了させた。 以上のことから、本工事監理技術者を若手技術者(奨励賞)として表彰するものである。		

若手・女性技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	さんこうけんせつかぶしきかいしゃ 三光建設株式会社		
ふりがな 下請技術者名	たかやす ゆか 高安 有加	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	れいわ7ねんど かしまこうがいこうちくみなみぼうはていひふくこうじ 令和7年度 鹿島港外港地区南防波堤被覆工事		
履行期限	(自) 令和7年8月8日 (至) 令和8年1月9日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
工事概要	本工事は、鹿島港外港地区南防波堤の被覆ブロックを、陸上作業ヤードで製作する工事である。		
表彰理由	本工事は、鹿島港外港地区南防波堤の被覆ブロック(ペルメックス4t型200個)を、陸上作業ヤードで製作する工事である。 工事を進めるにあたり、発注者と綿密な協議を行い、迅速な認識の共有ができ、発注者としても滞りなく判断ができた。これは、工事の内容及び課題・工程等を的確に理解し、早期に対応を図ろうとした結果に他ならない。 また、休日確保や創意工夫等に取り組み、施工方法の工夫、品質管理の工夫、施工管理ソフト及びタブレット端末の活用、遠隔臨場や、ICTの活用、CCUS実施、現場作業環境の改善、盗難防止対策の工夫、のほか、周辺清掃・ゴミ拾い活動などを通じた地域への貢献、担い手育成活動を実施した。 特に担い手育成活動では、現場見学・出前講座・体験型講習を通じて、社会インフラの役割、ものづくりの楽しさ、誰でも活躍できる職場環境を伝えることに尽力された。 以上のことから、本工事現場代理人を若手・女性技術者(奨励賞)として表彰するものである。		

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事
受注者	五洋建設(株)東京土木支店
発注者	鹿島港湾・空港整備事務所

工事・業務概要

本工事は、鹿島港外港地区南防波堤の基礎工、本体工、被覆・根固工を施工したものである。
 受注者においては、大型や小型の船舶の入出港が頻発する海域でケーソンを仮置場から据付場所まで曳航することから、ケーソン曳航時における一般船舶の安全確保が課題となった。
 この課題を解決するため、ARをはじめとするDX技術を駆使して安全性を高めることで、無事故・無災害でのケーソン曳航を実現した。

表彰理由

＜有効性＞

①ケーソン曳航時の一般船舶との衝突・接触災害リスク低減
 航行安全監視システムを活用し、一般船舶が警戒ラインを通過した際に作業指揮者へ接近を自動通知する体制を構築した。これにより、迅速な警戒指示が可能となり、一般船舶との衝突・接触災害の発生リスク低減に寄与した。

②ケーソン曳航中の死角の解消
 曳航経路上の死角にクラウド録画型カメラ「Safie GO」を設置し、作業指揮者がWeb上で随時その状況を把握できる環境を整えた。これにより、一般船舶を早期に把握することで減速や避航などの適切な指示が可能となり、曳航作業の安全性が向上した。

③航路横断時の一般船舶への影響の最小化
 航路横断時にAR安全可視化システムを用いて計画針路を明示するとともに、UAVによるAR施工管理支援システムを活用して一般船舶との位置関係を正確に把握、航路を円滑に横断することで一般船舶への影響の最小化に寄与した。

＜先進性＞

①評価された新技術の活用
 有効性に示した各技術はNETISに登録された新技術である。従来の監視員による目視対応をデジタル化することで、見誤りや連絡遅延を排除して安全管理の効率化と迅速化を図ることができた。

②AR技術の活用
 「AR安全可視化システム」、「UAVによるAR施工管理支援システム」の活用によって、構造物や周辺の不可視情報を「見える化」することができ、作業船団と一般船舶の安全を確保できている。また、AR技術との連携がさらなる安全性の向上に寄与していた。

③UAV技術の活用
 従来の平面図等による周辺情報の把握に対し、UAV技術を活用することで地上からは得られない広範囲の俯瞰映像を収集することができ、安全性が向上した。

＜波及性＞

①安全管理における業務の効率化
 従来のケーソン曳航作業時の安全管理は安全監視員等を配置して対応していたが、新技術の活用によって業務効率化・スピード化を図ることで、ヒューマンエラーによる見誤りや連絡遅延を排除することができる。

②AR・UAV技術の適用拡大
 AR・UAV技術と情報通信技術との組み合わせは、構造物や周辺の不可視情報を「見える化」することができ、より安全な作業を実現した。加えて、これらの技術は現場に応じて修正や変更、アレンジといったカスタマイズが容易に可能であり、活用の幅が広いことが見込まれる。

今後、港湾工事のあらゆる場面において、施工の安全性を高める技術として広く普及することが期待されることから、関東インフラDX大賞として表彰するもの。